

# 府中市立府中第一中学校 改築に伴う基本構想

平成31年2月  
府中市教育委員会

## 目次

1	基本構想の背景と目的.....	1
	（1）背景.....	1
	（2）目的.....	1
2	現状の分析.....	2
	（1）建物の現況.....	2
	（2）生徒数の推移（予測）.....	2
	（3）建築基準法等の適合状況.....	2
	（4）アンケート・ワークショップ・ヒアリングによる現状の把握.....	3
3	整備方針.....	5
	（1）老朽化対策の進め方.....	5
	（2）目指すべき学校施設と整備方針.....	5
4	与条件の整理.....	8
	（1）配置の条件について.....	8
	（2）教育環境の充実についての具体的な取組.....	9
	（3）地域との連携について.....	10
	（4）各室の条件について.....	10
	（5）改築の施設規模及び事業スケジュール.....	12
5	配置の検討.....	13

## ※ 年度（年）の表記について

本書に記載している「平成」の元号を用いた年度（年）の表記のうち、平成31（2019）年5月以降のものについては、それぞれに対応する新元号を用いた年度（年）を表すものとします。

## 1 基本構想の背景と目的

### (1) 背景

本市の学校施設は、昭和 30 年代に既存の木造校舎を鉄筋コンクリート造へ建て替えるとともに、高度経済成長に伴う人口増加などにより、児童・生徒数が急激に増加したことで、昭和 30 年代から 50 年代にかけて、新しい学校の建設や校舎の増築を集中的に行うなど、他の公共施設に先駆け、施設の整備が進められてきました。

現在、これらの学校施設は建築後 40 年以上が経過し、一斉に老朽化していることから、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、老朽化対策が重要かつ喫緊の課題となっています。

本市の老朽化対策を着実かつ計画的に実施するため、平成 31 年度に学校施設改築・長寿命化改修計画素案（以下「計画素案」といいます。）を策定するとともに、早期に老朽化対策を実施する学校（以下「早期改築着手校」といいます。）を選定し、計画策定と並行して、改築事業に着手することとしました。

早期改築着手校の選定については、各学校の老朽化対策調査結果（校舎の構造躯体及び意匠・設備の状況調査）及び学校施設の築年数に基づく総合評価から、学校ごとの整備順序を検討した結果、府中第一中学校を早期改築着手校に位置付けました。

### (2) 目的

府中第一中学校の設計業務を行うに当たり、計画素案に記載された、市全体の学校施設の整備方針を踏まえ、新たな学校施設の規模や事業スケジュールを設定するための与条件の整理を行い、設計者が設計業務を速やかに行えることを目的とし、基本構想を整備します。

また、改築事業の実施に当たっては、府中第一中学校がこれまで行ってきた教育活動や地域との関わりなどの独自性については、市全体の学校施設の整備方針に加えていく必要があります。

本基本構想では、これまでの教育活動や地域の伝統、文化活動に根差した学校独自の取組の現状を整理し、基本計画の策定時に、地域住民も交えたワークショップを開催するなどにより府中第一中学校の整備方針として定めていきます。

## 2 現状の分析

### (1) 建物の現況

#### ① 所在地

府中市幸町1丁目22番地

#### ② 建物状況

ア 敷地面積：24,084 m<sup>2</sup>

イ 現有建物：校舎 7,251 m<sup>2</sup>（平成30年度学校施設台帳）

体育館 1,161 m<sup>2</sup>（平成30年度学校施設台帳）

武道場 1,678 m<sup>2</sup>（平成30年度学校施設台帳）

プール 25m×6コース

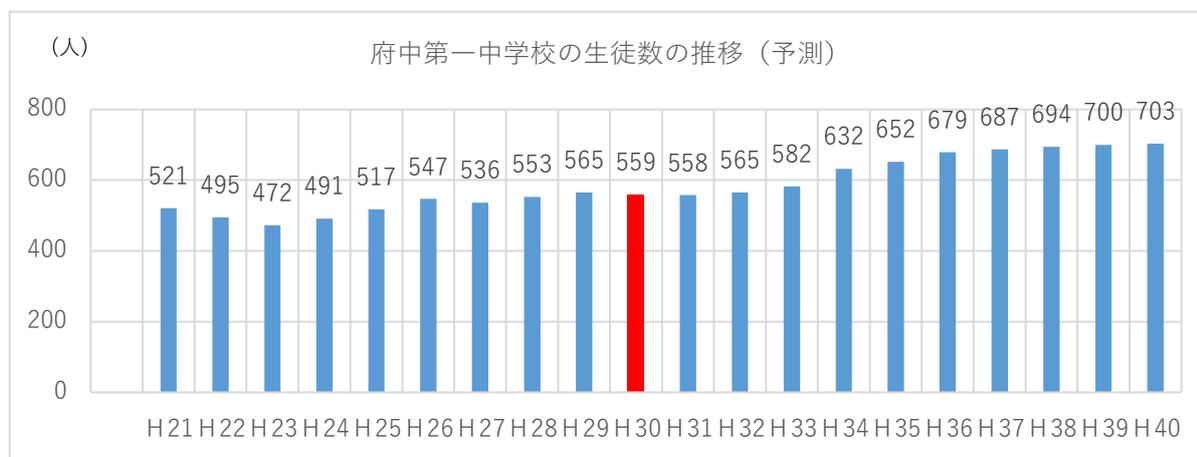
その他付属施設

### (2) 生徒数の推移（予測）

府中第一中学校の生徒数は、今後も増加する傾向にあり、平成40（2028）年度には、現在の1.25倍程度、増加すると予測しています。

① 平成30年：559人

② 平成40（2028）年：703人（予測）



### (3) 建築基準法等の適合状況

建築基準法の日影規制について、敷地北側で不適合となっており、改築に当たって、配慮が必要となっています。

(4) アンケート・ワークショップ・ヒアリングによる現状の把握

現状の学校施設について、現在学校を利用している生徒にアンケート及びワークショップを実施するとともに、保護者へのアンケート、学校へのヒアリングを行い、学校の使われ方を把握しました。

① 府中市のこれからの学校施設づくりに向けたアンケート調査（府中第一中学校）

【生徒のアンケート結果】

ア 学校の好きな場所とその理由

1位 図書室：リラックスできる、楽しい、静か、きれい等

2位 自分の教室：友達と過ごすことができる、落ち着く、クーラーがある

3位 コンピューター室：きれい、クーラーがある、いろいろ調べられる、静かで落ち着く等

イ 学校の嫌いな場所とその理由

1位 トイレ：汚い、臭い、虫がいる、便座が冷たい等

2位 更衣室等：狭い、臭い、虫がいる等

3位 プール：汚い、虫がいる等

ウ 学校に「あったらいいな」と思うもの

エレベーター、芝生、売店、自動販売機、ロッカー室等

【保護者のアンケート結果】

ア 学校の活動や施設について「独自性がある」と思うもの

天体観測・天体ドーム、木製の門（正門）、合唱祭 等

イ 未来に受け継ぎたいもの

天体観測・天体ドーム、木製の門（正門）、合唱祭、あいさつ運動等

ウ 老朽化対策を検討する上で取り上げてほしいテーマ

地震対策、避難場所対応、バリアフリー、適正規模・適正配置、屋内プール、緑豊かな学校等

② 「一中の好きなところについて話し合う会」ワークショップ

ア 学校の好きな場所とその場所をもっと良くするためのアイデア

A班 「みんなで学び、みんなで運動」

・体育館が狭いので2つに分ける。

・パソコン室、自習室、図書室を隣接させ、自習時の自由に往来ができるようにする。

- ・1年生を同じフロアにまとめクラス間の交流を図る。体育館のトイレと更衣室を別にする。

B班 「図書室の問題点や気になる点について」

- ・狭い通路：通路を広く、机を小さくする
- ・暗い雰囲気：カーテンを開け、自然を取り入れる
- ・出入口混雑：図書室を2階建にし、出入口を2箇所に分ける

C班 「みんなの学べる場所を」

- ・フリースペースの設置  
コミュニケーションルームとして使用、自習室として使用する
- ・教室への工夫：収納を増やす、網戸の設置、プロジェクターの設置
- ・バリアフリー化：階段をスロープにする、エレベーターを設置する

D班 「校舎全体」

- ・暗い雰囲気：吹抜けを設けガラス張りにする
- ・水道：給食時に混雑しない設計とする
- ・音楽室：広くする、エレベーターを設置する。
- ・教室：ロッカーを設置する

④ 学校に行ったヒアリング

ア 学校独自の特徴や伝統等で特徴的なこと

施設：天体観測・天体ドーム、木製の門（正門）、スポーツ団体等の物置

行事：わいわい駅伝大会、軽スポーツ大会、近隣保育園の運動会、

イ 建替えに当たって気を付けたい内容

少人数教室の確保、体育館の冷暖房設備等

ウ その他特筆すべき内容

70年の歴史がある学校で、地域や一中OB、同窓会及びスクールコミュニティ協議会との意見交換を大事にしたい。

理科室が現在3室ある。被服室・調理室を分けた方が良い。

教育相談室と進路資料・指導室は別々に設置が必要と考えている。

生徒・教職員用の災害時の備蓄品をしまえる場所が欲しい。

### 3 整備方針

#### (1) 老朽化対策の進め方

##### ① 学校施設の老朽化状況を踏まえた老朽化対策について

府中第一中学校については築 50 年を経過している建物が多いことから、校舎、体育館を改築し、全体的に整備します。また、武道場棟（プール含みます。）は築年数が浅いことから、既存施設を活用することとし、本改築事業に合わせ、バリアフリー改修や建物の防水改修等を行います。

##### ② 教育環境の充実を図ることについて

各教室、各部屋などの市全体の整備方針<sup>(※)</sup>に基づき、より良好な教育環境を確保するとともに、新しい教育ニーズに対応した学校づくりを目指します。

※各教室、各部屋などの市全体の整備方針は「計画素案」を参照とする。

##### ③ 地域と連携し、地域の拠点となる学校について

学校施設の地域開放や児童・生徒数の増減も視野に入れ、教室配置や改修などについて、柔軟かつ適切な対応ができる学校づくりを目指します。また、災害時に一次避難所として学校が備えるべき機能を検討し、それに合わせた学校づくりを目指します。

#### (2) 目指すべき学校施設と整備方針

「計画素案」では、5つの「本市が目指すべき学校施設」とそれに対する「学校施設の全体整備方針」を定めています。府中第一中学校の改築に当たっては、これらを踏まえ、整備を進めていくこととします。

##### ① 子供たちが毎日を健康で安全・安心に、生活し学ぶことができる学校施設

###### ア 安全・安心な学校

(ア) 子供たちの安全性に配慮した学校施設を整備します。

(イ) 十分な防犯性を備えた安心な施設環境を確保します。

###### イ 健康で快適な学校

(ア) 採光、通風、換気、温度、遮音性等に配慮し、健康で快適な学習環境を整備します。

(イ) 温かみのある、落ち着いた空間作りに配慮します。

(ウ) ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使用しやすい環境を整備します。

##### ② 子供たちが生き生きと学び、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和の取れた「生きる力」を身につけられる学校施設

ア 学習環境の充実

- (ア) 一人一人に応じたきめ細やかな学習指導や複数の学級での学習・交流活動ができるよう、多様な学習形態に対応できる学校施設を整備します。
- (イ) 子供たちが主体的・対話的で深い学びができる学習環境を整備します。
- (ウ) 子供たちの体力や運動技能の向上に資するよう、運動のしやすさに配慮した学校施設を整備します。
- (エ) 特別支援教育を推進し、一人一人の教育的ニーズに対応できる多様な学習環境を整備するとともに、誰もが相互に理解し学び合うことができる環境を整備します。

③ 学校と地域が連携し、活性化し、地域で子供たちを育てていくことができる学校施設

ア 子供たちの成長を支える施設

- (ア) 学校と家庭や地域との連携・協働が図れる環境を整備します。
- (イ) 各学校の地域の特色や独自性をいかし、愛着の持てる学校施設を整備します。
- (ウ) 教職員がそれぞれの力を発揮し互いに連携し合える、働きやすい環境を整備します。
- (エ) 学校管理職がリーダーシップを発揮し、学校経営のしやすい環境を整備します。

④ 地域の方々が生涯学習・文化・スポーツ活動の場や災害時の避難所の役割を通じて、地域コミュニティの拠点となる学校施設

ア 地域コミュニティの拠点となる学校

- (ア) 地域住民の生涯学習・文化・スポーツの拠点となるよう、学校施設の有効活用を図ります。
- (イ) 災害時の避難所運営を踏まえた施設の整備を行います。

⑤ 公共施設のひとつとして、施設の総量抑制や圧縮、財政バランスの維持に向けた手法の検討などの公共施設マネジメントの取組を推進する学校施設

ア 持続可能な学校整備

- (ア) 計画的かつ確実に老朽化対策を実施するため、長期的な財政見通しを考慮し、財政負担の軽減に努めた学校施設を整備します。
- (イ) 改築を実施した学校の状況を点検・評価し、その結果を踏まえた学校施設を整備します。
- (ウ) 施設環境の良好な維持と維持管理コストの低減が図れるよう、改築実施後のメンテナンスに配慮した学校施設を整備します。

イ 将来の人口動態などに柔軟に対応できる学校

(ア) 将来の人口動態などに応じて、各教室や建物などを他の用途に転用しやすい学校施設を整備します。

⑥ その他

ア 環境に配慮した学校施設

(ア) 省エネルギー・省資源型の学校施設を整備します。

#### 4 与条件の整理

府中第一中学校の改築事業を実施するに当たり、「3. 整備方針」の内容を基本とし、学校独自の条件を加味した整備を行います。

##### (1) 配置の条件について

府中第一中学校の配置の条件を整理し、校舎配置の具体的な検討を本基本構想の「5 配置の検討」で複数の配置の検討を行います。

##### ① 生徒の安全・安心を考えた配置計画の検討

生徒の安全・安心を第一に考え、昇降口、校庭、体育館、武道場及びプールまでの動線が教職員の死角にならない（職員室からの動線が確認できる）ようにするなど、不審者対策を考えた配置とします。

##### ② 校舎と校庭の位置関係の検討

校舎と校庭の位置関係や広さのバランスについて、現状やこれまでの経緯等を鑑みながら、以下の懸念事項や利点を踏まえて、新たな計画として総合的に検討します。

校舎と体育館を北側にまとめて配置した場合は、全生徒が仮設校舎に移設し、仮設体育館も必要となります。

校舎を南側や東側に配置した場合は、冬季において、校庭への日陰が発生し、水はけが悪くなることや、凍結が発生することが懸念されます。ただし、日影規制の影響は受けず、仮設校舎が不要となり、建設工事費が抑制される等の利点もあります。

校庭は、改築に当たってはできるだけ校庭が使用できる建替計画とします。

##### ③ 体育館の運用と配置

工事中でも体育館が使用できるような配置、工事手順（仮設体育館や先行で新体育館を建設するなど）を検討する必要があります。

体育館は災害時の一次避難所となるため、高齢者や要援護者の使用等にも配慮し、体育館の配置は原則地上（1階）に配置します。

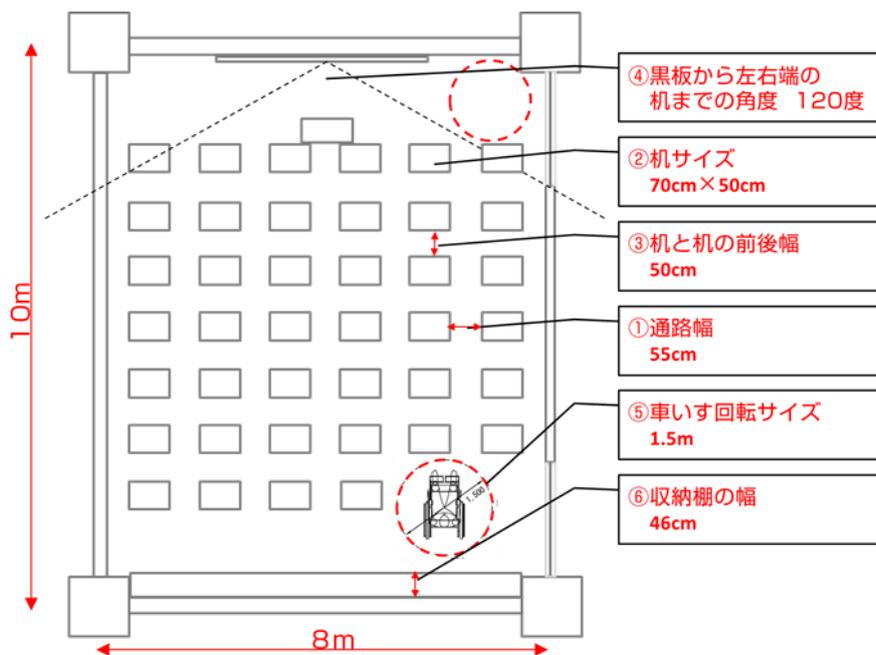
##### ④ 既存の武道場棟との関係

武道場棟は既存建物を活用することから、新たに建設する校舎や体育館と学校運営上支障とならない配置計画とするとともに、地域開放や災害時に活用できるように、セキュリティの確保に配慮します。

- ⑤ 地域開放時のセキュリティ確保について  
 学校教育エリアと、地域開放エリアは、管理上、物理的に区切り、地域開放エリアの利用者が学校教育エリアに入れない計画とします。
- ⑥ 災害用貯留槽について  
 府中第一中学校の校庭に、災害時に下水道本管が破断等した場合に、汚物を貯留できるよう、貯留槽が埋設されています。  
 今後、この取扱いについては、関係課と協議していきませんが、改築後の一中においても、同等の機能を求められることが見込まれます。

(2) 教育環境の充実についての具体的な取組

- ① 普通教室  
 普通教室は、学校生活に必要なスペースや多様な学習形態に対応できる広さと機能性を備えたものとし、8m×10mを1コマとします。



【普通教室レイアウトの具体的条件】

- ② メディアセンター  
 図書やインターネットなどの様々な媒体を活用した調べ物学習を通じて、子供たちが主体的・対話的で深い学びができるよう、図書室とコンピューター室を連携した「メディアセンター」を設けます。

③ 校務センター

「チームとしての学校」の実現に向け、管理職のリーダーシップが発揮しやすく、全ての教職員（特別支援教職員や外部講師含みます）や事務職員がお互いにコミュニケーションを取れる環境づくりとして、従来の職員室と事務室を一体化した「校務センター」を設けます。

④ 多目的ルーム

複数の学級活動や多用な学習活動の場として視聴覚機能を有した「多目的ルーム」を設けます。

⑤ 特別支援学級

学習の目的に応じた集団や個別での学習活動がしやすいよう、特別支援学級エリアとして一体的に整備します。

(3) 地域との連携について

① 地域開放・災害時の避難所としての範囲は、体育館・武道場・多目的ルーム・家庭科室・会議室・和室とし、ゾーニングに配慮した計画とします。

② わいわい駅伝大会、軽スポーツ大会、近隣保育園の運動会、スポーツ団体の活動など、地域の伝統や文化活動に根差した学校独自の取組が可能な施設計画とするとともに、歴史や地域とのつながりのある天体ドームや木製の門の取扱いについても今後検討します。

(4) 各室の条件について

特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教室1コマの大きさ(壁芯)は廊下側10m×黒板側8mとする。</li> <li>・改築に当たり校舎・体育館が使えない時期のない建替手順とする。</li> <li>・将来の生徒数の推移や維持管理コスト低減に向け、構造や棟の構成については、他の用途への転用しやすさや、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」の適用条件を考慮すること。</li> <li>・現状、教科センター方式の採用予定はない。</li> <li>・武道場、プールは既存利用とする。</li> </ul>				
	種類	諸室名	規模	室数	合計コマ数
普通教室	普通教室	1.0	24.0	24.0	学年のまとまりを重視。最大学年8クラスとするが、児童数の増減に対応できる配置とする。 不審者侵入へ備え、2階以上に配置する。 教室と廊下に壁を設け、オープン教室としない（可動式の壁は可とする。）。
	学習室	0.5	8.0	4.0	学年のまとまりに付随して配置。普通教室への転換も考慮する。 (学年1コマ+余裕1コマ)
小計①			32.0	28.0	

種類	諸室名	規模	室数	合計 コマ数	備考
特別 教室	理科室	1.5	2.0	3.0	
	理科準備室	0.5	1.0	0.5	理科室に隣接して配置
	音楽室	1.5	2.0	3.0	
	音楽準備室	0.5	1.0	0.5	音楽室に近接して配置
	家庭科室	1.5	1.0	1.5	震災時に調理する場所として利用、地域開放利用を想定し1階に配置
	家庭科準備室	0.5	1.0	0.5	家庭科室に隣接して配置
	コンピュータ室	1.5	1.0	1.5	
	図書室	2.0	1.0	2.0	生徒がいつでも使いやすい位置にメディアセンターとして一体的に整備
	司書室	0.5	1.0	0.5	
	美術室	1.5	1.0	1.5	
	美術準備室	0.5	1.0	0.5	美術室に隣接して配置
	技術室	2.0	1.0	2.0	
	技術準備室	0.5	1.0	0.5	技術室に隣接して配置
	教育相談室 進路資料・指導室	0.5	2.0	1.0	集約化（個別ブース3室完備） 不登校生徒への対応も考慮する。保健室に近接して配置
小計②			17.0	18.5	
管理 諸 室	職員室	3.5	1.0	3.5	校務センターとして一体的に整備。校庭が見渡せる1階に配置 (職員室+事務室+給湯スペース+打合せスペース)
	事務室				
	校長室	1.0	1.0	1.0	応接機能+打合せ機能。
	用務員室	0.5	1.0	0.5	1階に配置。作業スペースを確保
	保健室	1.0	1.0	1.0	校庭に面して1階に配置
	印刷室	0.5	1.0	0.5	校務センターに近接して配置
	倉庫・教材室	0.5	6.0	3.0	各階に配置
	職員更衣室(男女別)	0.5	2.0	1.0	教職員休憩スペースとしても利用。男女比の割合に対応できる作りとする。
	放送室	0.5	1.0	0.5	校庭が見渡せる位置に配置
	会議室	1.0	1.0	1.0	震災時及び地域開放での利用を想定し1階に配置
	配膳室	0.5	4.0	2.0	各階に配置。1階部分は1コマ分を想定
小計③			19.0	14.0	
そ の 他	多目的ルーム	2.0	1.0	2.0	震災時及び地域開放での利用を想定し1階に配置
	生徒用更衣室	0.5	2.0	1.0	
	和室	1.0	1.0	1.0	震災時及び地域開放での利用を想定し1階に配置
	PTA室	0.5	1.0	0.5	
	特別支援教室	1.0	1.0	1.0	
	特別支援学級	0.5	4.0	2.0	
	特別支援学習室	0.5	2.0	1.0	
	特別支援多目的ルーム	2.0	1.0	2.0	作業学習ができるスペースを設ける。
小計④			13.0	10.5	
総計①～④			81.0	71.0	
運 動 施 設	体育館	災害時の避難施設として利用。原則1階に配置。地域開放で単独利用に配慮し、ロビー、WCを設置 公式バスケットボールコート1面(練習用バスケットボールコート2面)			
	武道場	既存利用			
	プール	既存利用			
	テニスコート	2面			
	校庭	できるだけ広く確保			
	部室	グラウンドに面して野球部、サッカー部、陸上部用。大きさ適宜			
	屋外体育器具庫・WC	適宜			

※各教室の規模・室数については、今後の学校運営の状況により変更する可能性があります。

(5) 改築の施設規模及び事業スケジュール

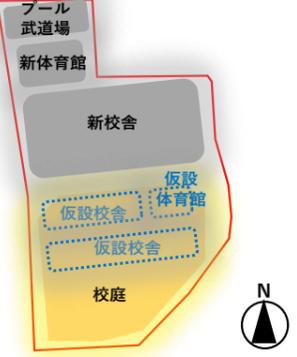
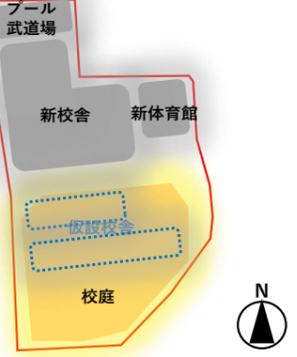
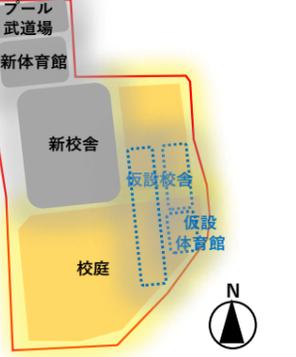
① 改築の施設規模

- ア 構造：設計段階に検討
- イ 階数：設計段階に検討
- ウ 延床面積：校舎棟 9,000 m<sup>2</sup>程度  
                  体育館 1,200 m<sup>2</sup>程度  
                  その他付属施設

② 事業スケジュール

- ア 平成31年4月～平成33(2021)年3月  
    基本計画・基本設計・実施設計
- イ 平成33(2021)年4月～平成35(2023)年3月  
    新校舎改築工事
- ウ 平成35(2023)年4月  
    新校舎供用開始

5 配置の検討

<p><b>■ 府中第一中学校 配置計画の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改築に当たり校舎や体育館が使えない時期のない建替計画とする。</li> <li>・武道場及びプールは既存利用とする。</li> <li>・工事期間中も一部校庭が使える計画とする。</li> <li>・現在ある部活動が行える計画とする。</li> <li>・近隣に配慮した計画とする。</li> </ul>				
<p><b>建物配置の現状</b></p> <p>建物施設を北側に集約</p> 		<p><b>A案</b></p> <p>現況に近い配置</p> 	<p><b>B案</b></p> <p>校舎北・体育館東配置</p> 	<p><b>C案</b></p> <p>校舎・体育館西配置</p> 
<p><b>建替手順</b></p>		<p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 仮設校舎と仮設体育館の建設</li> <li>② 既存校舎と既存体育館の解体</li> <li>③ 新校舎と新体育館の建設</li> <li>④ 仮設校舎と仮設体育館の解体</li> </ol>	<p>仮設体育館が不要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 仮設校舎の建設</li> <li>② 既存校舎の解体</li> <li>③ 新体育館の建設</li> <li>④ 既存体育館の解体</li> <li>⑤ 新校舎の建設</li> <li>⑥ 仮設校舎の解体</li> </ol>	<p>無理のない計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 仮設校舎と仮設体育館の建設</li> <li>② 既存校舎と既存体育館の解体</li> <li>③ 新校舎と新体育館の建設</li> <li>④ 仮設校舎と仮設体育館の解体</li> </ol>
<p>平面 計画</p>	<p>ゾーニング</p>	<p>校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンとしてのまとまりもよい</p>	<p>校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンが分離している</p>	<p>校舎と体育館のまとまりがよい 体育館と武道場の体育ゾーンとしてのまとまりもよい</p>
<p>校 庭</p>	<p>校庭の配置・向き</p>	<p>校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い</p>	<p>校舎の南側に校庭があり、日当たりが良い</p>	<p>校舎の東及び南側に校庭があり、日当たりが良い 校舎の東側の部分は午後に日陰ができる</p>
	<p>校庭の形状</p>	<p>まとまった正形な形となる</p>	<p>まとまった正形な形となる</p>	<p>まとまった大きさではあるが、分割配置となる</p>
<p>の周 関 係 と</p>	<p>近隣への日陰の影響</p>	<p>敷地北東の住宅に日陰が生じる</p>	<p>敷地北東の住宅に日陰が生じる</p>	<p>敷地北東の住宅に多少日陰が生じる</p>